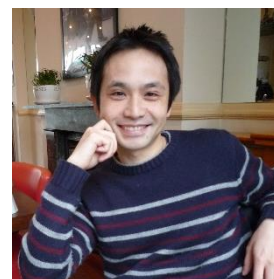




先端科学研究指導者育成ユニット

柴田淳史 研究室

(キーワード：DNA修復)

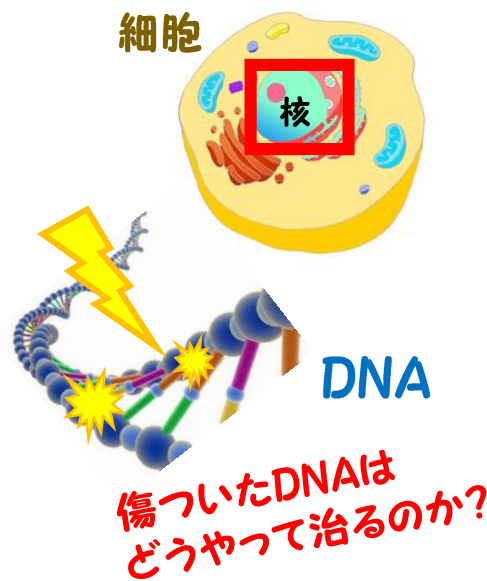
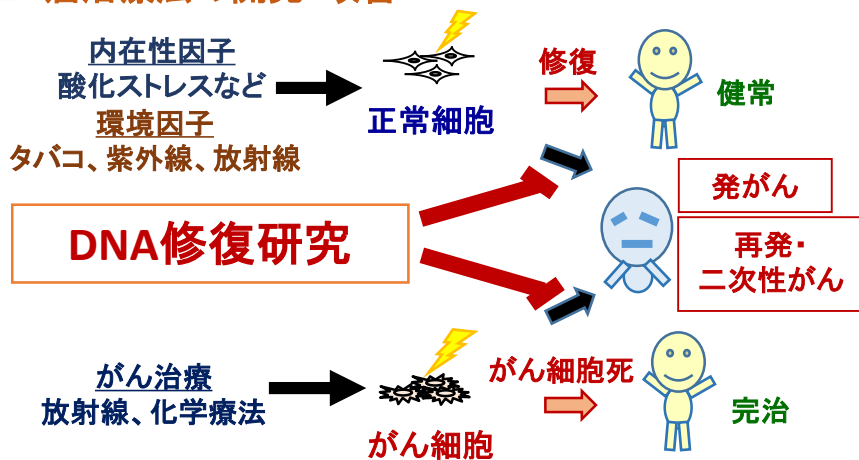


研究目標と仕事の内容

日本人の3人に1人はガンで亡くなっていると言われていたりますが、40代～80代までで見ると、ガンが死亡原因の1位となっています。近年の目覚ましい科学技術の発達により、さまざまなガン治療方法が開発されつつありますが、未だ撲滅には至っておりません。日本の放射線治療は欧米と比較しても全く遜色なく、非常に優れた技術により日々治療成績を高めています。放射線治療時には細胞内のDNAが傷つき、それに伴ってDNA修復反応がスタートします。我々の研究室ではDNA修復の視点から、放射線治療を含めた種々の癌治療で生じるDNA損傷がどのように修復されるかを解明することで、ガン治療の改善を目指します。上記目標に共感できる方、ぜひ見学にいらしてください。

DNA修復の視点から見た癌研究の二つの意義

1. 発がんメカニズムの解明
2. 癌治療法の開発・改善



問い合わせ

研究をスタートするのに必ずしも大きな目標はいらなくても構いません。サイエンスへの興味は実はいつも単純だったりします。「切れてしまったDNAがどうやって治るの?」と興味湧いてきた方、ぜひご連絡ください。また、より詳しい研究内容については、メール又は電話にて気軽にお問い合わせください。

TEL : 027-220-7977

メール : shibata.atあつとgunma-u.ac.jp ※ 迷惑メール防止のため「あつと」を@に変更して下さい。

研究室HP: http://asrldu.dept.med.gunma-u.ac.jp/ashibata/atsushi_shibata.html

(研究業績: Shibata et al., EMBO, 2011, Shibata et al., MCB, 2010等。その他の業績はHPから見られます)

柴田淳史のプロフィール 1977年生まれ

学歴

2001年 共立薬科大学 (現慶応大学) 薬学部卒
 2003年 共立薬科大学 薬学修士号取得
 2006年 東京医科歯科大学 博士号取得 (医学)

職歴

2006 - 2013年 英国サセックス大学 研究員
 2013年3月から 群馬大学 テニユアトラックYA助教